

仕 様 書

1 業務名

立山博物館展示館 3 階展示刷新業務
(立山信仰1300年ストーリー理解促進事業)

2 委託期間

契約締結日から令和 8 年 3 月13日まで

3 業務の趣旨

富山県〔立山博物館〕（以下「立山博物館」という。）の展示館 3 階の常設展示第 1 展示室「立山信仰の舞台」において、立山の開山からおよそ1300年に及ぶ立山信仰の歴史を軸に、それを育む舞台となった立山の自然、そして人々の営みといった、様々な要素の関係性をより明確に伝え、立山の文化と歴史について、今以上に伝えることができる展示とするため、ゾーンサイン、解説パネルの見直し、タッチパネルディスプレイの導入等を行い、展示を刷新する。また、館内各施設の周遊を促すため各施設に案内パネルを設置する。

4 業務内容

【立山博物館展示館 3 階第 1 展示室】

(1) 入口誘導サインの新設

展示館 3 階第 1 展示室の展示概略・流れの説明を行う案内表示を行うサインを新たに企画・製作し、設置すること。日本語の記載に加え多言語化（英語併記）を行うこと。なお、設置位置と方法については、（別紙）参考写真に記載する位置とし、右側はマグネットシートとし左側は角柱などの造作を想定しているが、その他適切な手法や位置があれば、提案すること。

(2) 2 階展示室への誘導サイン及び展示室内の誘導サインの新設

① 3 階第 1 展示室—立山信仰の舞台から、2 階第 2 展示室—立山信仰の世界へと観覧者のシームレスな観覧を促すための、誘導解説サインを新規制作し設置すること。

② 館内の順路を示すサインを 3 箇所程度設置すること。

(3) ゾーンサインの更新

以下の展示ゾーンのゾーンサインの表示面を新たに製作し、既存のゾーンサインの表示面と置き換えること（全 4 基）。日本語の記載に加え多言語化（英語併記）を行うこと。なお、設置位置について再検討を行い、必要に応じ、より適切な位置へ移設すること（（別紙）参考写真参照）。

I ブナの森へ……

II 人のくらしと大地

III 秀峰立山

IV 特異な景観

(4) 展示内容・解説等の更新

以下の展示ゾーン、展示コーナー及び展示に係る解説を新たに製作し、新設もしくは既存の解説パネルと置き換えること。新たに製作する解説は、解説パネルに限らず、タッチパネルモニタを活用するなど各コーナーの展示にあわせて工夫を凝らすこと。タッチパネルモニタを活用する場合、使用するディスプレイは、設置場所に応じた適切なものを選択すること。日本語の記載に加え多言語化（英語併記）を行うこと。また、展示什器並びに機器更新、照明設備の高演色（RA90 以上）LED 化などを行うこと。

I ブナの森へ……

ア ブナの森で……

① 現状のパネル 2 つを更新する。内容は、ジオラマの写真をベースに樹木や生物について解説するものとし、大きさは同程度としながら内容

に応じ決定する。

- ② 21インチ程度のタッチパネル式のデジタルフォトフレームにより、写真や解説を見ることができる仕組みを手すりに設置する。
- ③ A2横程度のジオラマの概要解説パネルを1枚新設する。
- ④ ジオラマ内の、エナガとヒガラの剥製を修理する。
- ⑤ ジオラマ内のものに触れないよう「さわらないでください」の表示を6箇所程度設置する。なお、表示は日本語を含め4言語（英語、中国語（簡体・繁体）、韓国語）とする。

イ ブナの森から……

- ① ブナ林産品をはじめとする展示資料と人々の関わり方がどのようなものであるかが理解できるA1縦サイズの解説パネルを新設する。なお、解説パネルはマグネットシートを用い、将来的に更新・変更が容易なものとする。
- ② 既存の展示方法からより効果的なものへと変更する手法を検討し、これを行うこと。例えば、ブナの実はいかり舟に入れて置いてあるだけだが、これをより観察しやすいものとする。
- ③ 現状のガラス上の解説を廃し、資料ごとにキャプションを設置（6枚）し、ブナディスクに触れてもいい旨の表記を行う。
- ④ 照明についてLED化するとともに資料を観察しやすく改善する。

ウ ブナの森は……

a 隠された湖

来館者が、ブナ林と水との関係について理解を深められる内容のパネルを作成し、既存のものと置き換えること。なお、解説パネルはマグネットシートを用い、将来的に更新・変更が容易なものとする。

b ブナの根・ブナの森の土

標本をより観察しやすいものとなるよう、照明を改善・更新し、解説を更新すること。解説は、ガラス上のものを廃し、新規に設置するスタンド式とし、盤面縦450mm×横600mm程度とする。

II 人のくらしと大地

ア 水の源・立山

立山における降水の特徴について知り、理解を深められる内容のパネルを作成し、既存のものと置き換えること。なお、解説パネルはマグネットシートを用い、将来的に更新・変更が容易なものとする。

イ 人のくらしと常願寺川

a 以下の、電照式の写真を印刷したアクリル板から、写真と解説を記載するA2縦サイズのLED導光板に置き換えること（全5基）。

① 水持ちの悪い扇状地＝礫層があることによって扇状地の水持ちの悪さを紹介。

② 水田化への努力＝土壌を改良し水田化に成功した事例を紹介。

③ 洪水を克服する工夫＝かすみ堤について

④ 洪水を克服する工夫＝用水の合口化について

⑤ 洪水を克服する工夫＝砂防ダムについて

b 現状のプロジェクタを更新した上で、以下のとおり、現状のコンテンツに以下のコンテンツを加え既存の模型上に投影するシステムを新たに構築すること。

【既存コンテンツ】

- ・ 用水路網の様子
- ・ 常願寺川扇状地における洪水域
（安政5年と明治24年の2種を紹介）

【追加コンテンツ】

- ・ 実景の衛星または航空写真

※1 新システムは、来館者が興味関心を惹くよう、接近すると自動で表示がされるなど、工夫を施すこと。

※2 現状の模型は、河川に蛍光塗料が塗布されており、ブラック

ライトを照射すると浮き出る仕様となっており、これを活用すること。

※3 操作は、押しボタンスイッチからタブレット等に更新することを想定している。

※4 将来的なコンテンツの拡張性も考慮すること。

ウ 安政の大洪水

- ・安政の大転石、水神碑、供養塔について写真で紹介するとともに分布を地図上で示し、人々の水への畏れについて紹介する解説を更新する。なお、解説パネルはマグネットシートを用い、将来的に更新・変更が容易なものとする。
- ・また、21インチ程度のタッチパネル式のデジタルフォトフレームにより、写真や解説を見ることが出来る仕組みをパネルに埋め込み設置する。

エ 跡津川活断層

a 跡津川断層露頭標本

- ・高演色（Ra90以上）LED照明を設置し、標本を観察しやすいものとする。
- ・上部の写真部分を鮮明なものに張り替えること。
- ・下部の写真部分を覆うように造作し、解説を行うとともに、その造作内に照明を設置すること。
- ・電照式の解説を撤去すること。（a-2）

b 材化石標本

撤去すること。

c 撤去した箇所に手すりを新規に設置すること。

オ 地震と活断層

a 地震と活断層

b 活断層の分布

- ・現状の映像システム及びパネルを撤去する。
- ・現状のa及びbを撤去したのち、縦1,900ミリ×横1,200ミリのパネルを新設し、表示面を1,200ミリ×1,200ミリとし解説を製作すること。なお、可能な限り他と意匠をそろえるものとする。

III 秀峰立山

ア 刻まれる大地

解説内容を充実させたパネルを新規に作成し、更新すること。なお、解説パネルはマグネットシートを用い、将来的に更新・変更が容易なものとする。

イ 立山の地勢

- ・模型の照明をLEDに置換えること。
- ・既設のタッチパネルモニタに内容を追加すること（日本語10コンテンツ、英語18コンテンツ）。
- ・山名のパネルを更新すること。
- ・潜望鏡で何が見えるかを伝えるA4程度のパネルを設置すること。また、石材部分について、足元の注意喚起を促すことや石材上のすべり止め等によって使用しやすくすること。

ウ せり上がる大地

解説内容を充実させたパネルを新規に作成し、更新すること。なお、解説パネルはマグネットシートを用い、将来的に更新・変更が容易なものとする。また、現状のパネルは撤去し、縦1,900mm×横1,800mm×奥行き180mmのパネルを設置し、うち、上から1,200mmを表示面とし、可能な限り他と意匠をそろえるものとする。

エ 立山の生い立ち

a 山脈を造る岩石

b 立山のおいたち

c 立山火山の噴出物

- ・現状の映像システムを撤去する。ただし、映像システムについては、再利用可能であればこれを妨げない。
- ・タッチパネルディスプレイによる解説に置き換える。モニタサイズは32インチ程度とし、コンテンツは10ページ程度に加え、地形形成のメカニズムのGIF動画を想定。
- ・岩石標本のキャプションを更新すること。
- ・材木石の模型を3つ作成し、設置すること。

IV 特異な景観

ア 地獄谷

a 地獄谷の景観

- ・現状のジオラマを撤去すること。
- ・立山で見られる特異な景観を立山信仰との関連を含め解説する、縦600mm×横900mm程度のパネルを設置する。なお、設置にあたり取付壁面を新設すること。
- ・地獄谷の解説を行う縦600mm×横900mm程度のパネルを新設する。
- ・地獄谷で実際に使用されていた館所蔵の案内看板（縦500mm×横700mm）とA4程度の解説キャプションを新規に設置すること。

b イオウ・イオウの溶岩流・湖成層

- ・各標本の解説を更新すること。更新にあたっては、ガラス面の表示を消し、標本間に縦300mm×横200mm程度の解説を読みやすい角度で設置することとする。

イ 餓鬼の田圃

- ・照明をLED化すること。
- ・既存ディスプレイの両脇にある解説及び、ガラス面の解説を更新すること。なお、更新にあたっては、両脇のものは現状の置き換えとし、ガラス面の表示は消すものとする。

ウ 立山の景観と動植物

- ・42インチ程度のタッチパネルディスプレイにより、立山の特徴的な景観や動植物を紹介するサイネージを設置すること。

【各施設】

館内の各施設の周遊を促すための案内パネルを新設し、以下の施設に設置すること。

- ・展示館（1階）
- ・教算坊
- ・山岳集古未来館
- ・遙望館
- ・まんだら遊苑（入口受付）

【共通仕様】

- （1）本展示改修においては、以下のような展示手法に対する考え方を踏まえたうえで行うこととする。
 - ・インバウンド対応を念頭に、ノンバーバル＝非言語的表現を重視する。
 - ・インフォグラフィックなど眼で見て理解する情報伝達の表現を取り入れる。
- （2）解説パネルの製作にあたっては、将来的な内容変更の可能性を踏まえ、表示面を再剥離することができるなど、容易に修正・変更等が可能な仕様とすること。

5 著作権等

ア 受注者は富山県の許可なく成果物を展示、上映、放送、配信に使用または流用してはならない。また、業務完了後は機器故障等に備えた修理・復元等に必要なものを除き、本業務実施のために得た一切の書類及びデータを適切に破棄しなければならない。

イ 富山県は、広報・宣伝、教育普及をはじめ博物館活動の範囲内での使用を目的と

する場合に限り、表示画面や機器そのものについて、自身又は他者による撮影等（静止画及び動画、画面キャプチャを含む）による複製が可能なものとする。

ウ 成果物及び受注者が撮影、制作した動画・静止画素材についての著作権等の権利は受注者に帰属するが、成果物に使用された部分について、本業務以前に受注者が所有していたものを除き、他の目的に利用しようとする場合には、その可否について事前に富山県に相談の上、使用可能な場合は許可を得るものとする。

エ 本業務実施のために第三者が所有する素材等を使用する場合は、受注者において著作権等、権利に関する処理を行うものとする。

オ 万一、本業務の実施において、第三者の著作権及びその他の権利に関わる紛争が生じた際には、受注者においてこれに対応するものとし、富山県はその責を負わない。

カ 双方いずれかにおいて、著作権等の取扱いについて疑義が生じた際は、双方協議の上、対応することとする。

6 その他

(1) 本業務の遂行にあたっては、以下の点に留意すること。

- ・受注者は、本仕様書に定めのない事項であっても、本業務の目的を達成するためにより良い手段等があると認めた際には、積極的に提案することができる。追加で提案のあった事項の実施については、立山博物館担当者と協議の上これを決定する。
- ・本業務では立山博物館デザインガイドラインに則して、デザイン・意匠の検討を行うこと。また、別途立山博物館が指定するデザインコンサルタントがデザインについて指導・助言を行うため、これに従うこと。
- ・解説文等は、英文も含め、原則立山博物館から支給する。
- ・解説パネル等に用いる映像（写真・動画）及び、イラスト、図表等は、受託者においてこれを調達すること。また、これにかかる権利処理については、基本的に受託者においてこれを行うこととする。
- ・業務の進捗状況については、立山博物館担当者に適宜報告すること。
- ・設置にかかる位置及び方法等については、立山博物館担当者と協議の上決定すること。
- ・作業（現地の視察、測量等を含む。）を行うときは、あらかじめ立山博物館担当者と日時の調整を行ったうえで行うこと。
- ・設置にあたっては、転倒・落下等が生じることのない方法について十分検討し、立山博物館担当者の了承を得ること。また、設置時においては必要に応じ立山博物館担当者の指示に従うこと。
- ・作業にあたっては、立山博物館来館者への安全対策を十分行うこととし、来館者の立入制限を行う必要がある場合は、事前に立山博物館担当者と十分調整すること。また、施設・設備を損傷しないよう、十分注意すること。損傷した場合は発注者に直ちに報告を行うとともに、原型復旧すること。
- ・電気、配線等に係る施工は、その方法、時期等を立山博物館担当者と調整すること。
- ・設置物と周辺の展示環境との調和等にも配慮すること。

(2) この業務は、国の交付金を活用した事業であり、会計検査の対象となることから当該委託業務が完了した日の属する富山県の会計年度終了後、5年間保管すること。

(3) 本仕様書に定めのない事項または委託業務の内容に疑義が生じた場合は、速やかに立山博物館担当者に照会し、協議の上その指示に従うこと。

別表 仕様詳細

内容	数量	単位
【仮設費】		
現場養生費	1	式
仮設間仕切	1	式
墨出し	1	式
仮設足場	1	式
発生材処分費	1	式
引渡クリーニング	1	式
【解体・撤去費】		
跡津川活断層解説・ケース撤去搬出処分費	1	式
地震と活断層パネル・モニターBOX 撤去搬出処分費	1	式
せり上がる大地パネル撤去搬出処分費	1	式
地獄谷ジオラマ撤去費	1	式
同 廃材搬出処分	1	式
ブナの根ガラス撤去搬出処分費	1	式
コルトン BOX・パネル類廃材搬出処分	1	式
照明器具・バルブ関係撤去廃材搬出処分	1	式
【サイン更新】		
○入口誘導サイン		
三角柱 木造作 塗装仕上げ 450/320*2630	1	台
同 IJ 出力貼 450*2630	1	面
導入サイン AL 複合板/IJ 出力/マグネット 450*2630	1	枚
○2F 誘導サイン		
木軸パネル 塗装仕上げ 600*1800*80	1	枚
ベース金物 焼付塗装仕上げキャスター付き	1	台
表示部 アクリル t=8.0/IJ 出力 600*900	1	枚
順路サイン アクリル t=5.0/IJ 出力 300*300	3	枚
○ゾーンサイン更新		
アクリル t=8.0/IJ 出力 400*1000	4	枚
取付・設置費	1	式
副材料・消耗材費	1	式
【展示内容の更新】		
I ブナの森へ…		
○ア ブナの森で…		
●ア①		
モニターパネル製作 600*400*30 ブラケット共	2	台
デジタルフォトフレーム 21 インチ	2	台
データ設定費	1	式
電源取り出し	2	カ所
②解説パネル 木軸パネル/IJ 出力+Mg A2 サイズ ブラケット共	1	台
③、④剥製修繕	1	式
⑤注意サイン スチールパネル/IJ 出力 □150	6	台
取付・設置費	1	式
副材料・消耗材費	1	式
○イ ブナの森から…		
①A1 パネル/IJ 出力+Mg シート	1	式
②アクリルパネル加工 300*300	5	セット
③透明フロートガラス/飛散防止フィルム 300*300*t=6.0	5	枚
③キャプション アクリル t=5/IJ 出力 200*150*t=5.0	6	枚
④間接照明交換 ERK1088SA/SAD440XA	10	セット
④間接照明交換 ERK9710SA/SAD440XA	3	セット
取付・設置費	1	式
副材料・消耗材費	1	式

○ウ ブナの森は…		
●ウ a 隠された湖		
ウ a GP 面栈加工	900*1200*80 塗装仕上げ/下地加工	1 式
ウ a マグネットシート/IJ 出力	900*1200	1 式
●ウ b ブナの根・ブナの森の土		
透明フロートガラス/飛散防止フィルム	1935*1065*t=10.0	1 枚
透明フロートガラス/飛散防止フィルム	1250*1065*t=10.0	1 枚
透明フロートガラス/飛散防止フィルム	1150*1065*t=10.0	1 枚
コーキング		1 式
間接照明 ERK9708SA		1 台
同上ユニット RAD684WB		1 台
間接照明 ERK9709SA		2 台
同上ユニット RAD685WB		2 台
同 給電コネクタ RK-581N		3 台
ライトコントローラー RX-382W		1 台
解説スタンド 焼付塗装仕上げ	600*900*300	1 台
解説パネル アクリル t=5/IJ 出力	600*450	1 枚
取付・設置費		1 式
副材料・消耗材費		1 式
Ⅱ人のくらしと大地		
○ア 水の源・立山		
GP 面栈加工	1155*950*65※変形 塗装仕上げ/下地加工	1 式
マグネットシート/IJ 出力	1155*950	1 式
取付・設置費		1 式
副材料・消耗材費		1 式
○イ 人のくらしと常願寺川		
●イ a		
導光板(調光)/IJ 出力	A2 サイズ	5 式
筐体加工 焼付塗装仕上げ	A2 サイズ	5 台
下地加工		1 式
電源差替え		5 カ所
●イ b		
システム設計費		1 式
プログラム構成		1 式
プロジェクター EB-760W		1 台
ブライトサイン HD1025		1 台
人感センサー BR/PAS-1050		1 式
タブレット 10.1 インチ JA3-TBA1006-6		1 台
LED ブラックライト		1 式
リレー他 周辺機器・配線材		1 式
本体・金物加工		1 式
取付・設置費		1 式
副材料・消耗材費		1 式
○ウ 安政の大洪水		
展示台製作	□600*900	1 式
デジタルフォトフレーム 21 インチ		1 台
データ設定費		1 式
電源取り出し		1 カ所
GP 面栈加工	1500*1200*80 塗装仕上げ/下地加工	1 式
AL 複合板/IJ 出力+Mg シート	1500*1200	1 式
取付・設置費		1 式
副材料・消耗材費		1 式
○エ a, b, c 跡津川活断層		

●エ a 跡津川断層露頭標本				
解説・照明カバーBOX 塗装仕上げ	2300*900*900	1	台	
写真 IJ 出力	2400*1500 想定	1	式	
同 版權		1	式	
解説 IJ 出力	1500*500 想定	1	式	
スポットライト ERS5245HB		2	台	
●エ b、c 材化石標本				
SUS 手摺加工	φ 50 1200*900	1	式	
床補修		1	式	
取付・設置費		1	式	
副材料・消耗材費		1	式	
○オ a, b 地震と活断層				
パネル製作	1200*1900*80	1	式	
AL 複合板/IJ 出力+Mg シート	1200*1200	1	式	
床補修		1	式	
取付・設置費		1	式	
副材料・消耗材費		1	式	
Ⅲ 秀峰立山				
○ア 刻まれる大地				
GP 面栈加工	900*1200*80 塗装仕上げ/下地加工	1	式	
マグネットシート/IJ 出力	1200*900	1	式	
取付・設置費		1	式	
副材料・消耗材費		1	式	
○イ 立山の地勢				
要件定義(システム調査)		1	式	
コンテンツ制作および追加費用		28	コンテンツ	
山名変更 パネル アクリル t=5/IJ 出力	600*300	1	枚	
潜望鏡キャプション IJ 出力貼		1	式	
注意喚起サイン ポリカラーエンボス LG□450		1	式	
ベースライト XL501008R3C		10	台	
取付・設置費		1	式	
副材料・消耗材費		1	式	
○ウ せり上がる大地				
解説パネル製作 塗装仕上げ	1800*1900*180	1	台	
AL 複合板/IJ 出力+Mg シート	1800*1200	1	式	
取付・設置費		1	式	
副材料・消耗材費		1	式	
○エ a, b, c 立山の生い立ち				
要件定義・コンテンツプランニング		1	式	
システム設計費		1	式	
アプリ開発費		1	式	
UI/UX 設計・制作		1	式	
グラフィックパーツ制作		1	式	
映像コンテンツ制作(GIF)		1	式	
SE 制作費用		1	式	
テスト及び動作確認費		1	式	
23.8 インチタッチモニター LCD-MF241FVB-T		1	台	
PC、ケーブル類		1	式	
電源取り出し		1	カ所	
本体加工/モニターBOX※既存筐体流用		1	式	
キャプション アクリル t=5/IJ 出力		9	枚	
取付・設置費		1	式	
副材料・消耗材費		1	式	
【Ⅳ 特異な景観】				

○地獄谷（ジオラマ部）		
●ア a 地獄谷の景観		
展示壁面製作 W2400*H2000*150 木軸/塗装仕上	1	台
展示壁面製作 W1800*H2000*150 木軸/塗装仕上	1	台
32 インチモニター PN-Y326C	1	台
解説パネル IJ 出力貼 塗装仕上げ 600*900	1	枚
キャプション アクリル t=5/IJ 出力 A4	2	枚
地獄谷既存サインクリーニング	1	式
電源取り出し	1	カ所
床補修	1	式
●ア b イオウ・イオウ溶岩流・湖成層		
シルク印刷除却	1	カ所
解説パネル アクリル t=5/IJ 出力金物ブラケット付き	3	台
取付・設置費	3	式
副材料・消耗材費	1	式
○IVイ 餓鬼の田圃		
ベースライト XL501008R3C	1	台
シルク印刷除却	1	カ所
キャプション アクリル t=5/IJ 出力 □450	1	枚
取付・設置費	1	式
副材料・消耗材費	1	式
○IVウ 立山の景観と動植物		
43 インチモニター PN-LM431	1	台
PC、ケーブル類	1	式
データ設定費	1	式
電源取り出し	1	カ所
モニターBOX 製作	1	式
取付・設置費	1	式
副材料・消耗材費	1	式
【共通事項】		
○サイネージ関係		
マニュアル作成	1	式
現地設定・調整費	1	式
案件進行管理・技術管理費	1	式
○諸掛		
運搬・搬入費	1	式
現場管理費	1	式
データ作成費	1	式
現場経費	1	式
会社経費	1	式

(別紙) 参考写真 寸法はmm

【立山博物館展示館 3 階第 1 展示室】

(1) 入口誘導サインの新設



間口 : h2,700×w2,635

(2) 2 階展示室への誘導サインの新設

①



ゾーンサインと異なり移動式とする
パネル : h1,800×w600×t80

(3) ゾーンサインの更新 (全 4 基)



盤面 : h1,000×w400

(4) 展示内容・解説等の更新
I ブナの森へ……ア



既存の解説パネルを更新し、フォトフレーム解説及びA 2 解説パネルを新設する。

左側（現状）



既存解説パネル

右側（現状）



I イ

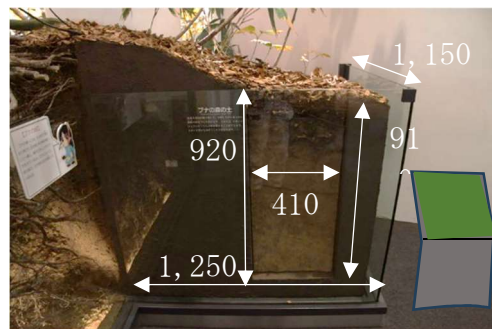


A 1 サイズ解説パネル新設

I ウ a



b



パネル更新 照明更新、ガラス面表示変更、解説スタンド新設 (h450×w600)
 パネル表示面 : h1,200×w900×t80

II 人のくらしと大地



II ア



パネル : 右边835、上辺1,155、左辺950、下辺920

II イ a ①



II イ a ②



II イ a ③



II イ a ④



II イ a ⑤



A 2 縦 導光板に置き換え 現状 : 各410×410 (外寸)

II イ b



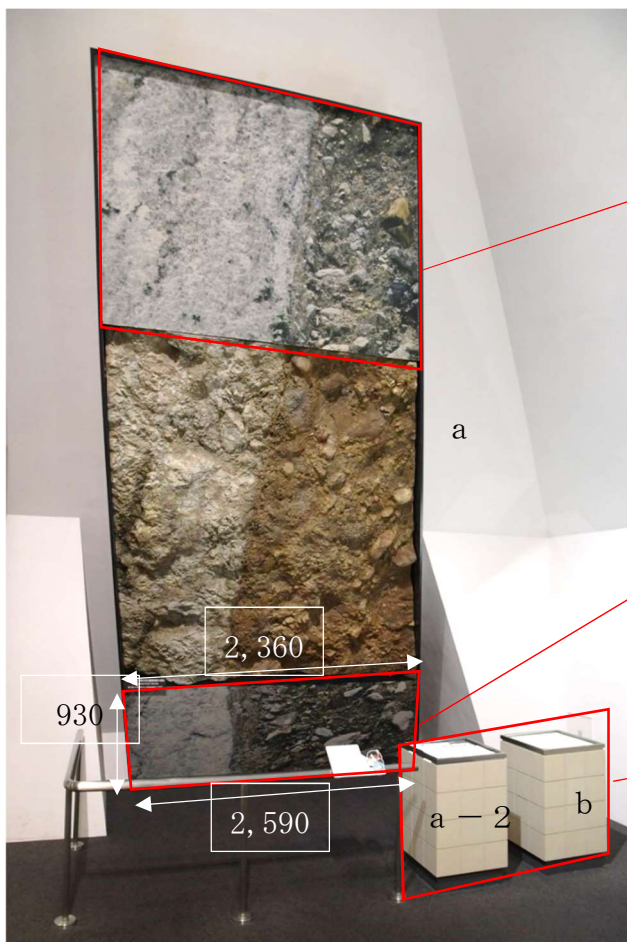
II ウ



パネル表示面：h1, 200×w1, 500

パネルを更新し、デジタルフォトフレーム解説を埋め込む。

II エ



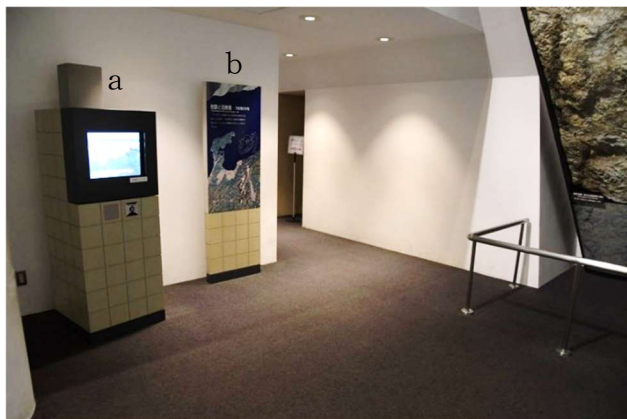
上部の写真を改善

下部に解説と照明を追加

撤去

a - 2 及び b は縦410×横410×高さ730

Ⅱ オ a 及び b



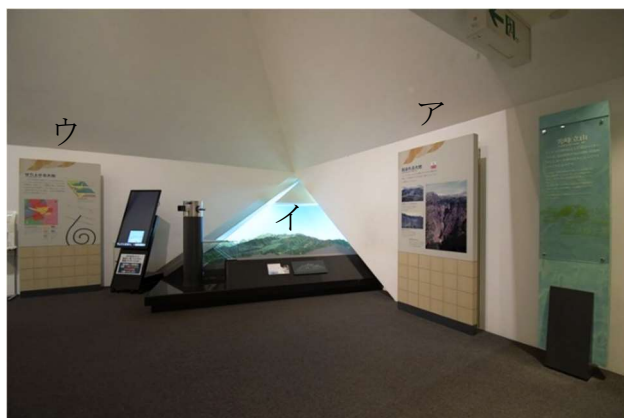
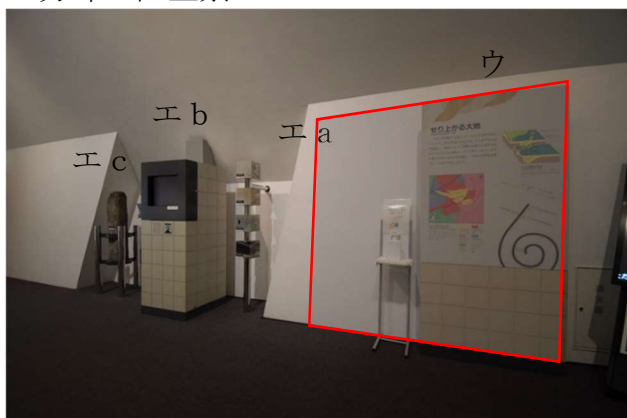
b



現状h1,900×w600×d80

a・bを撤去しh1,200×w1,900×d80のパネルを設置

Ⅲ 秀峰立山全景



Ⅲ ア



ウ



表示面：h1,200×w900

エ a ～ c



24インチ程度のタッチパネルモニタに更新

IV特異な景観全景



※ゾーンサインは適切な位置へ移設

IVア a・b



ア a ① ボックス1,200角 床から600

イ



地獄谷案内板 h500×w700×t50

イ



4 3 インチ程度のタッチパネルモニタ新設